



鉄骨建方用仮設通路の改善

大阪支店 真栄会 躯体部会
株式会社 赤坂組



工事概要



- 構造: S造 2階建
- 用途: 事務所(研究施設)

テーマ設定



鉄骨建方用仮設通路の改善

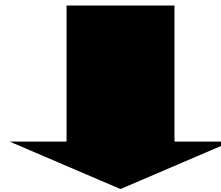
当初計画:ピットを砕石にて埋戻し



鉄骨建方(建て逃げ工法)



砕石撤去



埋戻し方法の改善により、
撤去手間の効率化を図る。



当初計画



問題点

- ① 碎石撤去ごとに、重機＋ダンプを入れる
必要があり、コスト・労務がかかる。
- ② 撤去時に躯体を痛める可能性がある。
- ③ 上記より、慎重な作業になり時間がかかる。



改善提案



改善案

- ①当社のリサイクルセンターにて、再生砕石をトンパックに詰めたものを現場に搬入
- ②トンパックをピット内に敷き並べ、最上部に敷鉄板を敷き、通路の確保
- ③建方開始





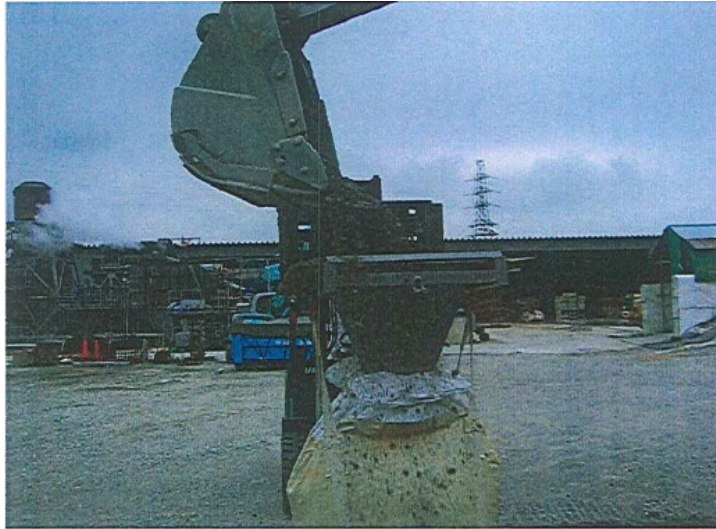
④建方の合間に、鉄骨鳶にて、撤去・構内仮置

⑤撤去後の再生砕石の処理

- 本工事の基礎、土間下砕石に利用
- 構内残土仮置き場の最終砕石敷に利用
- 当社リサイクルセンターに持ち帰り再利用



状況写真



再生砕石入トンパック作製状況



再生砕石入トンパック運搬状況



再生砕石入トンパック搬入



トンパック設置状況

状況写真



トンパック設置状況



トンパック設置状況



鉄骨建方状況



鉄骨建方状況

状況写真



トンパック撤去状況



トンパック撤去完了状況



・後打ち工区砕石に利用

撤去後再生砕石利用状況



・構内残土仮置き場の最終砕石敷きに利用

撤去後再生砕石利用状況

効果



- ・鉄骨建方の流れを大きく変えることなく、撤去を行うことができ、工程に貢献できた。
- ・撤去後のピット内もきれいな状態を保つことができ、品質確保に貢献できた。

■工程面：設置・撤去を含め6日間の短縮

■コスト面：厳しい現場予算内に収めた

■品質面：躯体への損傷ゼロ

■問題点：ピット内端部において、トンパックとの隙間が出来るので、安全対策が必要であった。

